



～次世代の医療のために～

以下の研究は、皆様よりNCNPバイオバンクに提供いただいた臨床試料（検体おもに血液・髄液等）と臨床情報の利用を倫理委員会で審査し、活用していただくことが認められた研究です。

この研究について知りたいことや、気になる点がありましたら、遠慮なく下記のバイオバンク窓口にご相談ください。ただし、個人情報の保護、知的財産権の保護により、ご対応・ご回答できない場合がありますので、予めご了承ください。

- ・本研究への協力を望まれない場合は、問い合わせ窓口へご連絡ください。
- ・研究に協力されない場合でも不利益な扱いを受けることは一切ございません。

【対象となる方】

2012/12/7～2017/12/28にご同意いただいた方

【研究課題名】 複数の自己抗体を一度に検索できる手法を用いた自己免疫性脳炎の診断に関する観察研究

【研究責任者】 金澤 恭子（国立精神・神経医療研究センター病院 神経内科）

【本研究の目的及び意義】

てんかん発作、認知機能障害等の原因として脳炎が積極的に疑われ従来法による自己抗体検査を行った患者において、複数の自己抗体を一度に検索できる手法を用いて病因を検索し、同手法を用いることの妥当性、及び同手法を用いることでより迅速で適切な診断と治療が行われる可能性について、観察研究により検討する。

【本研究に提供している試料・情報】

血液、髄液

【問い合わせ窓口】

国立研究開発法人国立精神・神経医療研究センターバイオバンク
所属 メディカルゲノムセンターバイオリソース部

電話番号 042-346-3520

e-mail: biobank※ncnp.go.jp(「※」を「@」に変更ください。)